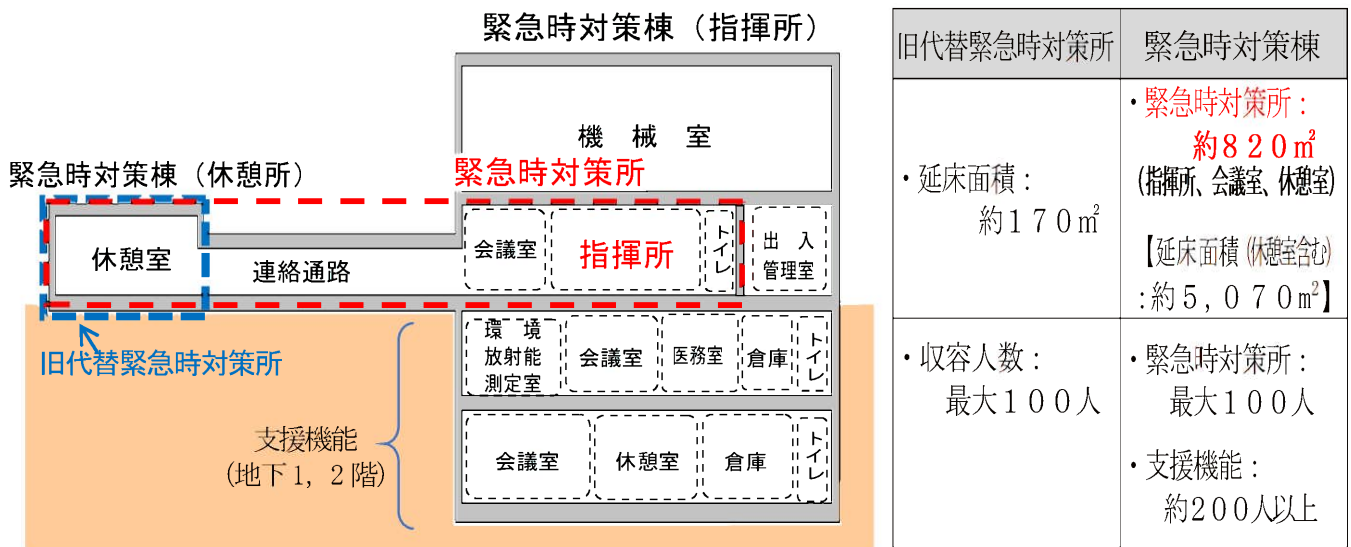


# 更なる安全性・信頼性向上への取組みについて（1 / 3）

## （1）緊急時対策棟の設置（1，2号機共用）

更なる安全性向上への取組みとして、緊急時対策要員（指示要員、現場作業要員）がより一層確実に重大事故等に対処できるよう、要員の収容スペースの拡大や休憩室の整備等の支援機能を更に充実させた耐震構造の緊急時対策棟（指揮所）を、新たに設置しました。その後、緊急時対策棟（休憩所）と連絡通路で繋ぎ、一体的運用を開始しました。

[2022年 9月15日 一体的運用開始]



指揮所[2023年2月鹿児島県原子力防災訓練状況]

# 更なる安全性・信頼性向上への取組みについて（2 / 3）

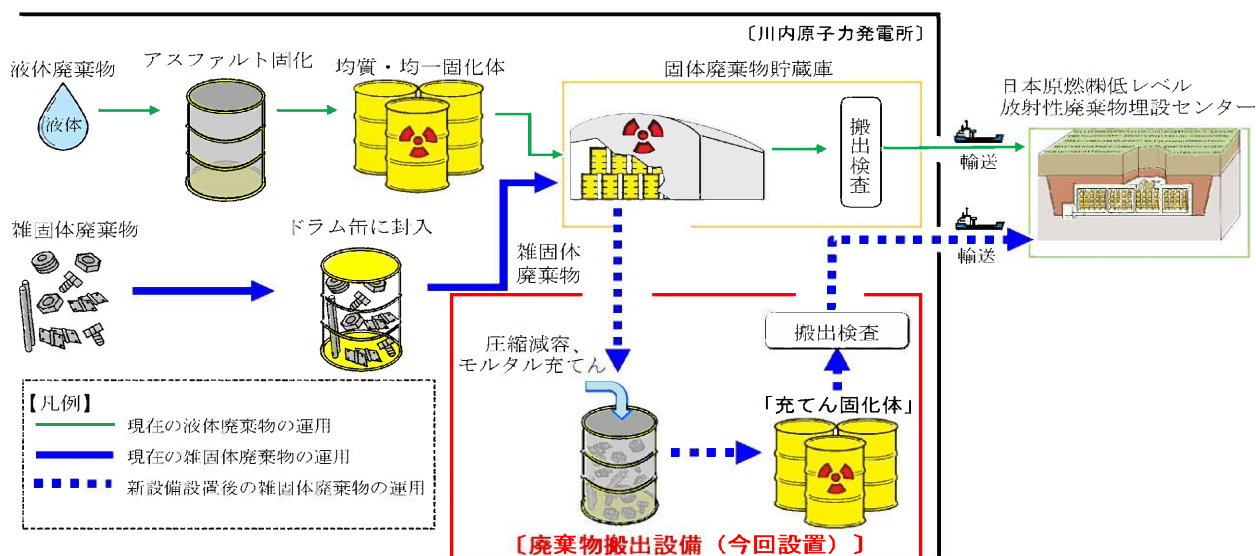
## （2）廃棄物搬出設備の設置（1，2号機共用）

川内原子力発電所で発生する低レベル放射性廃棄物のうち、運転に伴い発生する液体廃棄物については、運転開始当初から所内に固化設備を設置し、青森県六ヶ所村の日本原燃株式会社低レベル放射性廃棄物埋設センターへ計画的に搬出してきました。

一方、**工事に伴い発生する雑固体廃棄物については、発電所での保管状況や同センターの埋設計画を総合的に勘案した上で、廃棄物搬出設備を設置し搬出する計画**としています。今回、廃棄物搬出設備を設置する建屋は、**圧縮固化処理棟と固体廃棄物搬出検査棟**で構成されます。

圧縮固化処理棟には、雑固体廃棄物の圧縮減容装置及びモルタル充てん装置を設置し、固体廃棄物搬出検査棟にて搬出検査を行います。

[現在工事中、2025年度完成予定]



項目		概要
圧縮固化処理棟	圧縮減容装置	ドラム缶の本数を減らすため、雑固体廃棄物を圧縮して容積を減らします。
	モルタル充てん装置	雑固体廃棄物をモルタルで固めて充てん固化体を製作します。
固体廃棄物搬出検査棟		製作した充てん固化体の放射線量等が搬出するための条件を満たしているか検査を行います。
処理計画		約1,500本/年
保管容量		約4,500本相当

固体廃棄物搬出検査棟

圧縮固化処理棟

**【廃棄物搬出建屋外観図（新設）】**

# 更なる安全性・信頼性向上への取組みについて（3 / 3）

## （3）受電系統の変更（1，2号機共用）

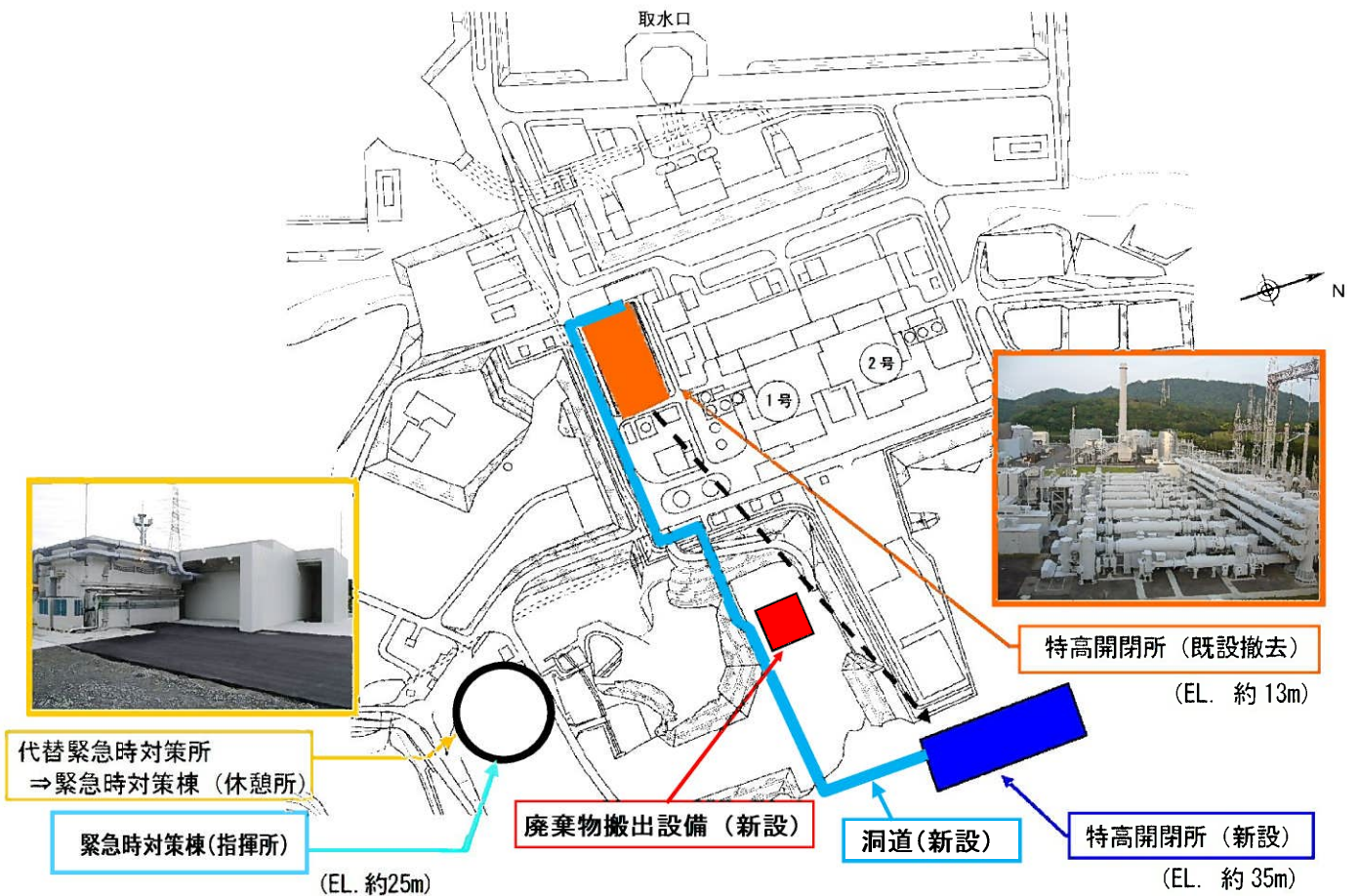
外部電源確保の更なる信頼性向上を図るため、所外から受電する回線数を、現行の3回線から6回線に増強するとともに、特高開閉所の更新を行います。

[現在工事中、2023年度回線増強完了予定、2024年度500kV移設完了予定]

設備名	回線数	
	現行	変更後
50万V送電線	2回線	2回線
22万V送電線	1回線	4回線
回線数（合計）	3回線	6回線

受電系統図



緊急時対策棟、特高開閉所、廃棄物搬出設備の配置図